令和8年度　事 業 実 施 報 告 書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名（個別メニュー）	地域をまもる砂防防災セミナー	事業経緯	継　続	実施体制	後　援	担当所属	松本支所
事業名（大項目）	地域の利用･整備･保全に関する広報事業	分類名（中項目）	広報･啓発活動支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

本事業は、急峻な地形や脆弱な地質の梓川流域（奈川･安曇地区等）の住民を対象に、住み慣れた「ふるさと」で将来にわたり安心して暮らしていくため、さまざまなインフラ整備視察を通じ、地域の防災のあり方や方向性を考えることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：奈川公民館、安曇公民館
共 催：NPO法人梓川流域を守る会
後 援：国土交通省松本砂防事務所、(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

日 時：令和8年10月8日（木） 8:00～16:30

場 所：梨子沢砂防事業（長野県南木曽町）

実施概要：梓川流域と地形的に共通点の多い地域の砂防事業の視察
・梨子沢砂防事業
・蛇ぬけの碑（悲しめる乙女の像）･･･国土地理院「自然災害伝承碑」登録

講 師：国土交通省多治見砂防国道事務所職員
参加者：20名（松本市安曇･奈川地区住民）

4. 事業実施による効果（評価・貢献度等）

本事業は、国が直轄で砂防事業を展開し、砂防事業への関心も高い地域の住民を対象とした見学会である。
今回は平成26年の7月、台風8号により南木曽町梨子沢を中心に甚大な被害が発生した現場を訪れた。目の前に広がる穏やかな風景が一変した当時の被災状況を聞き、改めて自然災害の恐ろしさを感じ、同じように急峻な地形や脆弱な地質の安曇・奈川地区でも、起こりうる災害なのだと気づかされた。
現地ではすでに砂防設備の工事がかなり進められており、参加者からは熱心に質問する姿も見られ、見学を通し砂防施設の重要性だけではなく日頃の防災意識を高める機会となった。





蛇ぬけの碑





梨子沢（写真左上）と事業説明のようす